



平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 一正蒲鉾株式会社

コード番号 2904 URL <http://www.ichimasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 野崎 正博

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長

(氏名) 滝沢 昌彦

TEL 025-270-7111

四半期報告書提出予定日 平成28年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	7,445	△3.1	△131	—	△141	—	△173	—
28年6月期第1四半期	7,680	6.1	△223	—	△260	—	△106	—

(注)包括利益 29年6月期第1四半期 △326百万円 (—%) 28年6月期第1四半期 △232百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	△9.38	—
28年6月期第1四半期	△5.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	25,660		9,104		35.5		492.50	
28年6月期	23,935		9,542		39.9		516.18	

(参考)自己資本 29年6月期第1四半期 9,104百万円 28年6月期 9,542百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年6月期	—	0.00	—	6.00	6.00
29年6月期	—	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,700	4.1	1,100	37.7	1,100	54.0	700	174.2	37.86
通期	36,500	4.2	1,300	62.8	1,300	167.8	600	140.6	32.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期1Q	18,590,000 株	28年6月期	18,590,000 株
② 期末自己株式数	29年6月期1Q	102,888 株	28年6月期	102,888 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期1Q	18,487,112 株	28年6月期1Q	18,525,112 株

(注) 期末自己株式数には、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式(29年6月期1Q38,000株、28年6月期38,000株)が含まれております。また、「資産管理サービス信託銀行(株)(信託E口)」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません(29年6月期1Q38,000株、28年6月期1Q 一株)。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成28年7月1日～平成28年9月30日）におけるわが国経済は、政府の経済対策や日銀の金融政策の効果により、緩やかな回復基調にあるものの、個人消費は生活防衛意識による足踏みもみられ、消費者物価についても低迷が続いております。

当社グループを取り巻く経営環境につきましても、節約志向や低価格志向は依然として根強く、消費者ニーズの多様化や価格競争の継続など厳しい状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループでは最優先に取り組んでおります「安全・安心」な商品の提供を念頭にお客様の消費動向を捉えながら、効果的な販売促進施策の推進により売上高の拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高74億45百万円（前年同四半期比2億35百万円（3.1%）の減少）、営業損失は1億31百万円（前年同四半期は営業損失2億23百万円）、経常損失は1億41百万円（前年同四半期は経常損失2億60百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億73百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失1億6百万円）となりました。

当社グループにおけるセグメントごとの経営成績の概況は以下のとおりであります。

① 水産練製品・惣菜事業

当セグメントにおきましては、7月にうなぎの蒲焼きをイメージした「うなる美味しさうな次郎」を発売し、ご好評をいただきました。しかしながら、9月の気温が平年より高く、残暑が長引いたことにより「おでん」・「揚物」商品群は軟調に推移し、売上面においては前年同四半期を下回る結果となりました。

利益面におきましては、円高による原材料価格の下落及びエネルギーコスト等の減少もあり、前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は65億2百万円（前年同四半期比2億7百万円（3.1%）の減少）、セグメント損失（営業損失）は56百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）1億37百万円）となりました。

② きのこと事業

当セグメントにおきましては、夏から初秋にかけて全国的に高温が続き、野菜及びきのこ市場相場は低迷いたしました。このような状況のなか、主要顧客への販売強化を実施いたしましたが、売上高・利益ともに前年同四半期を下回る結果となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は8億14百万円（前年同四半期比37百万円（4.4%）の減少）、セグメント損失（営業損失）は1億14百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）99百万円）となりました。

③ その他

（運送事業・倉庫事業）

運送事業におきましては、既存のお客様との取引深耕に加え、物流機能の効率化に努めた結果、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

倉庫事業におきましては、入出庫量は低調に推移しましたが、前年を上回る保管在庫量を維持したことにより、売上高・利益ともに前年同四半期を上回る結果となりました。

以上の結果、報告セグメントに含まれないその他の売上高は1億28百万円（前年同四半期比8百万円（7.5%）の増加）、セグメント利益（営業利益）は41百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）14百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 流動資産

当第1四半期連結会計期間末における流動資産の残高は83億8百万円（前連結会計年度末比19億78百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による売掛金の増加、需要期に備えた商品及び製品、仕掛品の増加によるものであります。

② 固定資産

当第1四半期連結会計期間末における固定資産の残高は173億51百万円（前連結会計年度末比2億53百万円の減少）となりました。これは主に有形固定資産の減価償却の進行によるものであります。

③ 流動負債

当第1四半期連結会計期間末における流動負債の残高は111億78百万円（前連結会計年度末比26億64百万円の増加）となりました。これは主に季節的要因による支払手形及び買掛金ならびに短期借入金の増加によるものであります。

④ 固定負債

当第1四半期連結会計期間末における固定負債の残高は53億76百万円（前連結会計年度末比5億1百万円の減少）となりました。これは主に社債ならびに長期借入金の減少によるものであります。

⑤ 純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産の残高は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上及び配当金の支払等により91億4百万円（前連結会計年度末比4億37百万円の減少）となり、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.9%から35.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、平成28年8月5日に公表した業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	861,539	1,137,954
売掛金	2,626,155	3,590,173
商品及び製品	622,472	1,024,787
仕掛品	597,832	906,763
原材料及び貯蔵品	1,478,574	1,411,912
その他	144,014	237,863
貸倒引当金	△568	△770
流動資産合計	6,330,021	8,308,685
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,781,913	6,619,327
機械装置及び運搬具(純額)	3,294,855	3,259,127
工具、器具及び備品(純額)	135,391	135,246
土地	3,296,749	3,296,531
リース資産(純額)	210,419	210,096
建設仮勘定	53,732	26,645
有形固定資産合計	13,773,061	13,546,975
無形固定資産	340,672	355,684
投資その他の資産		
投資有価証券	2,705,023	2,689,704
その他	810,845	783,545
貸倒引当金	△24,500	△24,500
投資その他の資産合計	3,491,369	3,448,750
固定資産合計	17,605,103	17,351,409
資産合計	23,935,124	25,660,095
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,854,181	2,097,806
短期借入金	3,777,972	6,321,512
未払法人税等	363,148	48,407
賞与引当金	60,100	237,094
未払金及び未払費用	1,374,024	1,368,712
その他	1,084,147	1,104,712
流動負債合計	8,513,573	11,178,245
固定負債		
社債	1,760,000	1,537,500
長期借入金	3,091,333	2,799,020
役員退職慰労引当金	52,554	53,674
役員株式給付引当金	10,613	17,641
繰延税金負債	551,335	539,057
その他	413,010	429,961
固定負債合計	5,878,846	5,376,854
負債合計	14,392,420	16,555,100

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	940,000	940,000
資本剰余金	650,000	650,000
利益剰余金	6,556,475	6,271,928
自己株式	△57,732	△57,732
株主資本合計	8,088,743	7,804,196
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,164,404	1,186,924
為替換算調整勘定	289,556	113,873
その他の包括利益累計額合計	1,453,960	1,300,798
純資産合計	9,542,704	9,104,994
負債純資産合計	23,935,124	25,660,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	7,680,967	7,445,577
売上原価	6,118,991	5,810,049
売上総利益	1,561,976	1,635,528
販売費及び一般管理費	1,785,298	1,767,524
営業損失(△)	△223,322	△131,996
営業外収益		
受取利息	170	106
受取配当金	3,610	3,808
受取賃貸料	2,882	3,663
受取手数料	6,022	7,964
受取保険金	—	8,555
売電収入	6,890	6,696
雑収入	11,568	15,800
営業外収益合計	31,145	46,595
営業外費用		
支払利息	28,945	21,932
為替差損	36,406	25,297
持分法による投資損失	—	6,104
雑損失	2,759	2,707
営業外費用合計	68,111	56,042
経常損失(△)	△260,287	△141,443
特別利益		
固定資産売却益	4,900	54
投資有価証券売却益	27,394	—
補助金収入	26,608	—
特別利益合計	58,903	54
特別損失		
固定資産除却損	3,251	826
固定資産売却損	—	487
投資有価証券評価損	—	27,746
特別損失合計	3,251	29,060
税金等調整前四半期純損失(△)	△204,635	△170,449
法人税、住民税及び事業税	47,701	53,542
法人税等調整額	△145,418	△50,595
法人税等合計	△97,717	2,947
四半期純損失(△)	△106,918	△173,396
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△106,918	△173,396

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△106,918	△173,396
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,650	22,520
為替換算調整勘定	△104,524	△178,070
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2,387
その他の包括利益合計	△125,175	△153,162
四半期包括利益	△232,093	△326,558
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△232,093	△326,558
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,709,931	851,517	7,561,448	119,518	7,680,967	—	7,680,967
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	579,260	579,260	△579,260	—
計	6,709,931	851,517	7,561,448	698,779	8,260,228	△579,260	7,680,967
セグメント利益又は損失(△)	△137,951	△99,920	△237,872	14,500	△223,371	49	△223,322

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額49千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	水産 練製品・ 惣菜事業	きのこ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	6,502,664	814,402	7,317,067	128,510	7,445,577	—	7,445,577
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	578,451	578,451	△578,451	—
計	6,502,664	814,402	7,317,067	706,962	8,024,029	△578,451	7,445,577
セグメント利益又は損失(△)	△56,071	△114,779	△170,851	41,610	△129,240	△2,756	△131,996

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない運送事業、倉庫事業セグメントであります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,756千円は、主にセグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。